

1 PLAN(目的・概要)

政策名	国際競争力及び産業競争力の強化と港湾物流の環境変化に対応した港づくり	30年度事業・施策評価結果		責任者	建設部 事業推進課長
施策名	国際産業戦略港湾の実現に向けた取組の強化	成果	コスト		
事務事業名	金城ふ頭地区ふ頭再編改良事業			連絡先	052-654-7921
目的	対象(誰・何を) 大型船による完成自動車輸送機能 意図(どういう状態にしたいか) 名古屋港における完成自動車の取扱機能について、金城ふ頭に集約・拠点化し、荷役の効率化を図ります。			事業期間	平成27~令和3年度
概要	整備場所: 金城ふ頭 内容・規模: 非効率な荷役形態の改善及び船舶の大型化への対応を図るための、施設利用の再編に合わせた、水深12mの国際物流ターミナルの整備 全体事業費: 182億円 事業手法: 直轄事業、起債事業			根拠法令等	社会資本整備重点計画 名古屋港湾計画
令和元年度の実施予定	国が新たな水深12mの岸壁(1・2突間)の整備を実施し、本組合は、その内容について協議を行うと共に、背後の保管用地の造成を行います。			実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
				関連シート	

2 DO(実施)

令和元年度に実施した内容・結果	国と協議し、水深12mの岸壁(1・2突間)の整備を国が実施し、本組合は、背後の保管用地の造成を行いました。					
コスト	単位	29年度	30年度	元年度	合計	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	(2,293,000) 1,031,850	(3,150,000) 1,417,500	(4,025,000) 2,229,750	(9,468,500) 4,679,100	平成27年度以降: 4,988,700千円 事業費の()は、国費負担分を含んだ金額です。
人件費	千円	2,941	2,950	16,697	22,588	
合計	千円	1,034,791	1,420,450	2,246,447	4,701,688	

3 CHECK(検証)

成果目標名		29年度	30年度	元年度	最終目標	3	成果目標の説明・目標値の考え方	外部要因
金城ふ頭地区岸壁(水深12m)(新規)整備進捗状況(全5工程)	目標	2	3	3	5		以下の項目のうち、完了した工程数 (①事業採択、②調査設計、③工事着手、④新規岸壁整備、⑤泊地整備)	
	実績	2	3	3				
(進行管理型)	事業進捗状況(元年度)			○順調・ やや遅れ・遅れ				
	目標							
	実績							
	事業進捗状況(元年度)							
目標の達成度に対する評価(外部要因等を踏まえた)	予定通り順調に事業が進捗しています。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性	○	自動車運搬船の大型化が進んでいるほか、完成自動車取扱機能の集約・拠点化が可能となることから、必要性は高いと考えております。						
有効性	○	金城ふ頭における完成自動車輸送の効率化は、上位施策の「国際産業戦略港湾の実現に向けた取組の強化」に資すると考えております。						
効率性	○	本事業の進捗状況としては、順調に進んでおります。						
	○	コストが最小になるよう精査して事業を進めています。						

4 ACTION(取組)

施策評価結果	2年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
継続	維持	維持	背後のものづくり産業の国際競争力強化に向けて、完成自動車輸送機能の集約・拠点化を着実に進めていく必要があるため。
課題	2年度以降の取組		
完成自動車の取扱拠点の分散による非効率な荷役形態の改善や、船舶の大型化への対応を図るため、着実に実現する必要があります。	関係者調整を行いながら、事業を進めていきます。		